

No.13

# 京林大だより



絵:卒業生 熊走君



4月7日（月）新入生20名を迎え、和知林業センターにおいて入学式が挙行されました。入学生はどのような気持ちで、入学式に臨んだのでしょうか。

今年の入学生は男性19名、女性1名、年齢やキャリアは多種多様で一昨年と似ています。

入学式の後、今年も林大校内で、和知駅前活性化委員会の方々に、よもぎ餅やきな粉餅、豚汁など振るまっていたきました。

## 春爛漫



### 藤野 百萌（日吉町出身・19歳）

私は北桑田高校の森林リサーチ科で森林について学んできて、さらに深く森林（林業）を学びたいと思い、林大に入学しました。

高校では自転車競技部に所属し、インターハイ出場経験もあり、体力には自信があります。たまに愛車で自転車通学もしているので見かけたらいつでも話しかけてください。

和知の印象は私の地元とは2駅しか離れていないのに、和知の方が静かで落ち着きます。

2年間どうぞよろしくお祈いします。



（左:藤野さん 右:川辺先生）

### 園部 拓也（秋田県出身・21歳）

私は京都府立林業大学校に入学するまでは拓殖大学北海道短期大学で農業を学んできました。林業に関心はありましたが、現状は把握しておらず農業との関連性も考えてきませんでした。林業は人の手が加わった森林を豊かにする産業だと知り、その豊かになった森林からもたらされる恩恵は日本の農業、漁業といった第一次産業全体を活性化させるものだと考えました。私は林業の現状を把握し、日本の森林を現場の最前線から今よりもっと豊かなものにしたいと考え林業大学校に入学しました。まだまだ未熟で自分の夢を実現できるほどの力は持っていないですが、この学校で学び、力を付け日本の林業に貢献していこうと思いますので、和知の皆様、2年間という短い期間ですがよろしくお祈いします。



（左:園部君 右:吉川君）

# 就職して2ヶ月。1期生は今・・・



3月に林大を卒業していった1期生達。

彼等はどのように輝いているのでしょうか？

今回は地元「京丹波森林組合」に就職した2人をクローズアップします！

作業服が格好良くきまっています！  
心なしか2人共、大きく見えます！

## 藤本和磨（写真左）

私は京丹波森林組合森林業務課の路網担当で主に森林作業道作りに取り組んでいます。

実際の作業では作業道の踏査や測量、被害調査・プロット調査などを行っています。森林組合での作業内容は林業大学校で習ったこともあれば初めてのこともあり、まだまだ勉強していくことがたくさんあると感じています。早く仕事を覚え、森林作業道作りの技術を高めていきたいと思っています。

## 高崎則禎（写真右）

京丹波森林組合森林整備課に

4月から配属され、搬出間伐現

場や重機の回送、メンテナンス、時には組合員様依頼の支障木伐採、測量など多様な業務で京丹波町内を飛び回っています。

1つとして同じ現場は無いので、学校で学んだ理論通りとはいかない事も多いのですが、変化に富んでいて充実感があります。

1日でも早く役に立てるよう、目を見開いて吸収していきたいと思っています。



## 校長室より

### 『新入生・新葉のシーズン』

校長 只木良也

2014年度新学年。京都林大にも府内のみならず日本各地から第3期の新入生20名。入学式当日、例年通りの地元の餅つき大歓迎、有難うございました。ところがその数日後、新入生一人の不祥事あり、地元にご迷惑を掛けてしまいました。深くお詫び申し上げますとともに、今後新入生たちが一日も早く地元と融和することを願い、2年間培われてきた地元との快いムードを損なわないよう、職員もそれに向けて努力すること、お約束します。

さて、山も新葉展開の季節、彼等の今後の活躍に期待する時です。明治の文豪・徳富蘆花は新緑の雑木林の様子をこんな風にかけて書いています。



## 京林大だよりのヒミツ!?

京林大だよりの横の絵、  
実はリニューアルしています。  
※注目して見てみてください。

余は、雑木林を愛す。

春来たりて、淡褐、淡緑、淡紅、淡紫、嫩黄（どんおう）など、和やかなる色の限りを尽せる新芽をつくる時は、何ぞ独り桜花に狂せんや。

（明治33（1900）年「自然と人生」から）

ナラやサクラなどの、冬には落葉の樹木の春の新緑はこのように目立ちますが、スギやヒノキやマツ、シイやカシなどの冬も緑の常緑樹も、春に新葉を芽吹くのは同じです。が、彼らが古い葉の一部を落とす時期は、スギ・ヒノキ・マツなどの常緑針葉樹では秋、シイやカシの常緑広葉樹では春に新葉が開いた後です。だから春には、色の濃い旧葉のおかげで、常緑樹の新葉は落葉樹ほど鮮やかに見えないのかも・・・。その中で、クスノキはちょっと特殊。他の常緑広葉樹では新葉展開後1ヶ月ほどの間に、旧葉の1/2～1/3が落ちるのに対して、クスは旧葉の全部が落葉します。だから5月のクスは新葉ばかり、まるで落葉樹のよう。